

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会

Newsletter



山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University

発行／山口県立大学社会福祉学部社会福祉学会

〒753-8502 山口市桜島3-2-1 TEL:083-928-4783 FAX:083-928-3547

印刷／(株)山口県農協印刷



今は移り、大学が大衆化する今日でも、この大学で学ぶことができたという「誇り」を持つことができるようになりたいと思っています。そのためにも、教員として、本学部に在籍する学生諸君とともに学ぶことができるることを「誇り」に感じていきたいと思つております。

社会福祉学部設立以来20余年が過ぎ、卒業生の皆さんも社会人として、家庭人として、そして専門職として活躍され、地域の専門機関・施設から高い評価を得ることができるようになりました。

今春山口県立大学社会福祉学部を卒業される皆さん卒業おめでとうございます。本学は、1941年に山口女子専門学校として、山口県における女子高等教育の中心として開学して以来、75周年を今年迎えることとなりました。

伝統の力

社会福祉学会長 草平武志

この4分の3世紀の間に、大学を取り巻く社会も大きく変わりましたが、本学が「人が人を愛し慈しむ」という理念に基づいた教育機関であるということは引き継がれています。

山口育ちの私にとって、1971年新築されたばかりの現在の本館の「あかね色」の屋根の鮮やかな彩りは、山口県における女子高等教育の中心として誇りを象徴するように私の目に刻みこまれたことが今でも鮮明に覚えています。

病院・社会福祉施設などでは、本学の食物評価を得ていたことにより、社会福祉学部が初めての卒業生を送り出す際に、快く就職を引き受けさせていただきました。改めて、山口女専・山口女子短大・山口女子大で継承された伝統の力をを感じることができた瞬間でした。

社会福祉学部設立以来20余年が過ぎ、卒業生の皆さんも社会人として、家庭人として、そして専門職として活躍され、地域の専門機関・施設から高い評価を得ることができるようになります。

山口県立大学社会福祉学会

第一部新任教員紹介

この「新任教員紹介」は、卒業生と、卒業生が在学中には着任され、いなかつた先生方との顔合わせの場がこれまでなかつたため、今回の学年会で初めて行われたものです。今回は、今年度新たに着任された坂本俊彦教授（社会学II研究室）、増田香教授（障害福祉研究室）（当日出席のため、司会者代理紹介）、廣智子講師（福祉哲学研究室）より、研究テーマやメッセージを伝えていただきました。

坂本先生は、福祉社会学、地域社会学等を専門とされ、高齢者の生きがい・社会参加とこれを支える地域福祉活動についての研究等が研究テーマです。卒業生へ、「アンケート調査の設計・分析・政策提言等を行っているため、ノウハウをお役立てできることがあれば、遠慮なくお尋ねください。」とメッセージをいただきました。増田先生からは、今ソーシャルワーカーに求めるものとして、①原点に立ち戻つてほしい！②政策提言で生きるソーシャルワーカーになつてもいい！③「local global」。どう「local」での3点を挙げられました。

廣田先生は、これまで、哲学・理學の分野で、主にドイツのハイデルガーリの哲学をもとにしながら、他の哲学者や存在論、言語論について、研究をきました。福祉について、研究を始めた。

齢者福祉や児童福祉などの様々な場面で人が生きるということや人と人との関係を考え直していくと、これまで研究してきたこととつながっていると感じる」とのことでした。新たに着任された3名の先生方、これからどうぞよろしくお願いいたします。

14期生 古富 真

第二部第1分科会

「どうすれば地域ケアが実現できるか～現実と政策のせめぎ合いから考える～」

日本における社会保障全体の過渡期である昨今、非常にタイムリーな講義を聞くことができました。社会福祉学部での『社会保障論』の中耕太郎先生として教鞭を振られた、田中耕太郎先生の講義は、まさに現在ソーシャルワーカーが直面している課題に対する問題定義と、今後の考え方への道筋だと思います。

個人的には介護保険の住宅のケアマネージャー・ソーシャルワーカーとしての立場で分科会に参加し、本格的に始まりつつある地域包括ケアも触れながら、地域包括ケアの目指すべき所についてもご講義頂きました。

それらの方々ができるか（＝地域包括ケアの実現）について、アメリカのミシガン大学での研究についても触れながら、地域包括ケアの目指すべき所についてもご講義頂きました。



第二部第2分科会 「家族福祉の視点と家族の焦点」

第2分科会の一村克行先生による「家族福祉の視点と家族の焦点」の講義の司会進行をさせていただいた秋山と申します。



家族福祉の大きなテーマの中の一つに、子育ての研究があります。これ親からみると「育児」ですが、子どもからみると「各段階における成長」になります。そして子どもに何らかの問題行動がある場合、親、子ども、親ともはつきり、問題点の捉え方が異なってきますつまり、視点・焦点を変えることになります。そこから先生は動物行動学から家族の起話方よ。

学問的視点・焦点が必要であることを、言語学や歴史などの多彩な分野を交えてお話しされました。そしてそのような多角的視点・焦点を持つことは、私たちにとっても、とても大事なことであります」と教えて下さいました。

先生は最後に、「士（＝人間）別れて三日なれば、刮目して相待すべし」という三国志にある言葉で締めくくられました。人間は三日経てば、何かが変わつていらないといけないという意味だそうです。日々努力を重ね、日々成長していくかなければいけないと心を奮いで立たされました。とても素晴らしい講義でした。

11期生 秋山(藤田)真理子

第2部 第3分科会 在学生のためのジョブカフェ

この取り組みは、各領域の福祉現場で勤務する卒業生と、福祉を学んでいる在学生とが、カフェのような雰囲気の中で交流し、在学生に福祉現場で働く職像を持つもらう、今回初めての取り組みです。

当時は、高齢者福祉（11期生…石田祐子さん）、児童福祉（11期生…山根千絵さん）、障害者福祉（4期生…寺美帆さん）、社会福祉協議会（6期生…西山善浩さん、7期生…鵜原正直さん）、病院（14期生…吉田侑平さん）、精神保健福祉士（13期生…吉永しおりさん、15期生…奥山紗央里さん）の7コースを設けました。来場者は全40名（内訳…2年生1名、



学友交流会情報コーナー

今回の交流会は、17期生が担当になりました。先輩、後輩が交流に

3年生26名、4年生10名、その他3名で内容は、業務内容、仕事について理由、きっかけ、国家試験対策、勤務体系等でした。在学生の積極的な質問、ブース担当者の丁寧な対応姿勢が印象的でした。

私自身、ジョブカフェの企画を通じて、様々な方とお話しすることができ、大変良い勉強となりました。また、ブース担当者の卒業生の皆様においては、ご多忙な中、このジョブカフェにご協力をいただき、本当にありがとうございました。

14期生 古富 真

間にはランダムで参加者を指名し、インタビュー形式でこちらが用意した質問に答えていただきました。卒業生には、「学生時代の思い出は?」など、司会：古富 真（14期生）は、「学生生活でやつておきたいことは?」などの質問をし、答えてくださった方に県大のクリアファイルを差し上げました。

参加された学生から、「先輩方からお話を聞いて良かつたです」と声をかけてもらい、このような会があることも県大の良さだなあと実感しました。ご協力してくださったみなさんありがとうございました。

17期生 桂 義宜



タイムスケジュール

13:00	総会
13:30	社会福祉セミナー
	第1部 新任教員紹介
	社会学Ⅱ研究室 坂本俊彦教授 障害福祉研究室 増田公香教授 福祉哲学研究室 廣田智子講師 司会：古富 真（14期生）
15:00	第2部 平成27年度退職教員による分科会 および在学生のためのジョブカフェ
	第1分科会 田中耕太郎先生 「どうすれば地域ケアが実現できるか －現実と政策のせめぎ合いから考える－」 司会：内田 陽介さん（5期生） 企画：岸本 陽平さん（14期生）
	第2分科会 二村克行先生 「家族福祉の視点と家族の焦点」 司会・企画 秋山(藤田)真理子さん（11期生）
	第3分科会 在学生のためのジョブカフェ 進行・企画 古富 真さん（14期生） 高齢者福祉ブース 石田 祐子さん（11期生） 児童福祉ブース 山根 千絵さん（11期生） 障害者福祉ブース 小寺 美帆さん（4期生） 社会福祉協議会ブース 西山 善浩さん（6期生） 鵜原 正直さん（7期生） 公務員ブース 树本 浩司さん（12期生） 病院ブース 吉田 侑平さん（14期生） 精神保健福祉士ブース 吉永しおりさん（13期生） 奥山紗央里さん（15期生）
16:30～18:30	交流会

定年退職される先生方から卒業生へのメッセージ

平成28年3月31日をもって定年退職を迎える先生方から、卒業生の皆さんへのメッセージをお届けいたします。

<田中耕太郎先生より卒業生へのメッセージ>

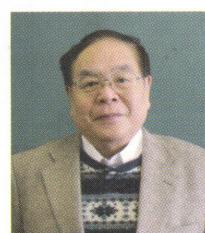
2016年3月末をもって、20年と9ヶ月勤務した山口県立大学社会福祉学部を退職することになりました。その前は1974年以来、21年と3ヶ月間厚生省（当時）に勤務していましたので、この大学で職業人生のほぼ半分を過ごさせて頂いたことになります。



第1期生から第21期生まで、学部だけでも2000人ほどの学生の皆さんに社会保障論を講義したことになりますし、ゼミの卒業生も117人になりました。それぞれが自分の道を歩み、社会福祉士として様々な職場で、あるいは家庭にあって、頑張っていることだと思います。皆さんが私の夢であり、元気の源であり、誇りでした。難しい変化の時代にあって、苦労も多いと思いますが、「地の塩」として、地域を支え、家族を支えて、元気で成長していってください。時折宮野に戻ってきた皆さんを研究室で迎えられなくなるのは少し寂しいですが、山口県庁の傍の自宅に、いつでも気楽に立ち寄って、元気な様子を見せてください。

よき出会いをありがとう。また、どこかで、お目にかかりましょう。

<二村克行先生より卒業生へのメッセージ>



卒業生のみなさん、こんにちは。私も皆さんとともに県立大学を巣立つて広大で魅力に満ちた社会へ刺激的な冒険の旅にでることになります。私の趣味は将棋と囲碁ですのでこれから思う存分対局をしていきたいと思います。棋界では、22歳前後でトップグループに躍り出てくる棋士が沢山おります。将棋の羽生名人や囲碁の井山名人は20歳には第一人者になりました。彼らにも当然彼らを育てた師匠がいるのですが、スター選手になるような一流棋士はみんな20歳から25歳ころまでに育ててくれた師匠をさわやかに追い抜いて行くのです。それは師匠にとって最大の喜びであります。卒業生の皆さんも育ててくれた県立大学の先生方を乗り越えていくことが何よりの御恩返しとなります。そうです。「出藍の誉れ」のことです。大海原の社会で皆さんのが育てられた技量をいかんなく発揮してご活躍されているご様子を報告してくださることを何よりも楽しみしております。Bon voyage!

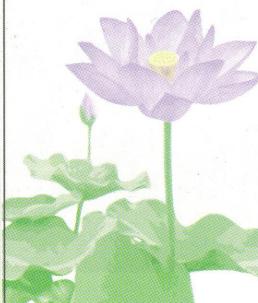
志村哲郎先生を偲んで

四期生 津田 隆志
河村 奈津子

平成二十七年七月十一日。この日のことを一番驚いているのは、志村先生ご自身ではないかと思います。四月二十五日には、五十人を超える卒業生・友人が集まり、先生の退官を盛大にお祝いしたばかりでした。私たち四期生が志村先生を思い出す時、それは大学の教壇に立つ姿ではなく、研究室で学生と歓談する姿であったり、大学祭でたこ焼きを焼く姿であったり、湯田温泉街で語り合う姿であったり。それは、所謂大学生のそれとはかけ離れた「思い出」であるかもしれません。

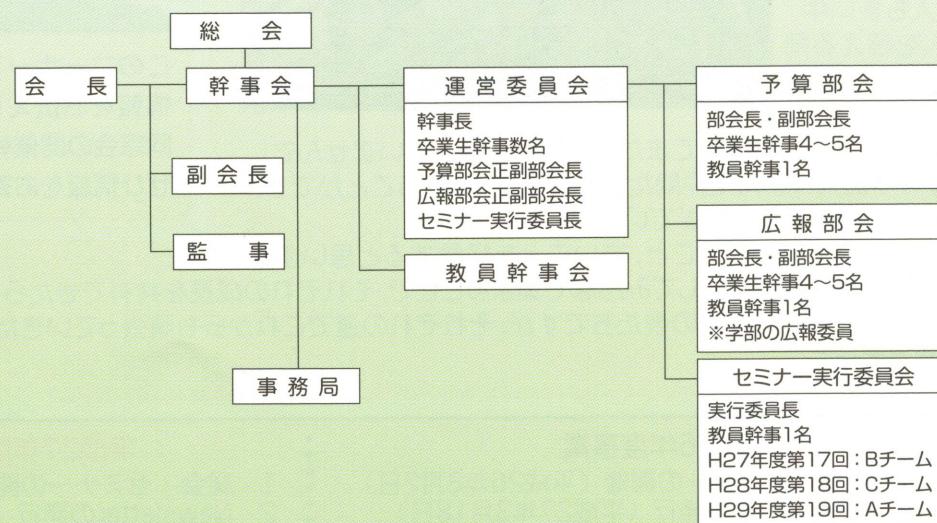
しかし、私達にとって「第二の父」と言える存在であった志村先生との出会いは、その後、現在の在学生に至るまでの出会いに繋がり、大学という範疇を超えた繋がりを産み、今の私たちを支えるものになったことに他なりません。

志村先生、一緒に先生の生まれ故郷を見に行く約束が果たせませんでした。いつか、私たちがその地を旅することがあれば、その時は先生のルーツに想いを馳せたいと思います。



幹事会の体制を変更しました

幹事会では、年代を超えた活発な活動を推進していくために、組織の変更を行いました。将来に渡ってスムーズな学会運営ができるよう、また、卒業生が交流を図りながら、皆が参加できる学会を目指し、各部会・実行委員会で様々な企画・課題検討を行っています。その中で、平成27年度セミナーより、当番幹事（幹事が3つのチームに分かれ、3年に一度の持ち回りでセミナーを担当します）がセミナー運営を行うこととなり、ジョブカフェという、在学生向けの新



新卒業生幹事のご紹介

私たちが19期生の幹事です。卒業生同士のかかわりや在学生や先生方とのつながりを深めていける学内学会を運営したいと思います。思い出の詰まった山口県立大学で情報交換や近況を語り合える充実した会にできるように頑張ります。よろしくお願いします。



南波 航希　滝口 英未　町田 瑛里　坂本 一平

新任教員 紹介

よろしくお願いします。



講師
廣田 智子

2015年4月に福祉哲学担当の教員として着任しました。愛媛に生まれ育ち福岡に10年近く住んでいた私にとって、山口での生活は新鮮です。歴史があり自然にも囲まれた環境のなかで、学生の皆さんと学び、研究できることに喜びを感じています。

これまで哲学・倫理学の分野で、自己と他者との関係や言葉とのとの関わり、そして死の意義などについて研究してきました。授業ではこうした事柄を踏まえて、さらに福祉の場での事象を考察していきたいと考えています。



教授
坂本 俊彦

これまで、住民団体による地域課題解決事業に関する調査研究を行ってきました。地域社会の大切さを認識し、それを支える人材を育成したいと願っています。授業では、お年寄りを対象とする見守り活動、住民が運営するコミュニティ交通、地域づくり組織の運営、地域づくり人材の発掘育成等を題材とし、住民の助け合い活動の意義や課題、改善方法について、楽しく議論しながら考察を深めていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



助手
岩本 紗子

昨年4月より社会福祉学部で助手をしております。一昨年までは地域包括支援センターの社会福祉士として、高齢者への相談援助業務や地域包括ケアへの取り組みを行っていましたが、この度、母校である山口県立大学に勤務することになりました。教員という立場にはなりましたが、久しぶりに母校に戻り、私が在籍していた頃と変わらない人柄や町並みを実感しています。微力ではありますが、どうぞ宜しくお願ひいたします。



教授
増田 公香

障害者虐待、エンパワーメント評価の研究を行っています。食べることが大好きで楽天的でんきな人間です。

若いときは失敗を恐れず多くのことにぜひチャレンジしてみてください!あらゆる経験は皆さん的人生の糧となることだと思います!
"Think globally, Act locally!"で頑張りましょう!!!



助手
岡崎 いずみ

昨年4月からソーシャルワーク実習開発室にて、助手として勤務させていただいております。昨年度本学部を卒業し、社会人としてのスタートを母校である本学で迎えることとなりました。学生のみなさんと一緒に考え、思いや感じたことを共有しながら、より実りのある実習や演習が行えるように努めたいと思っています。また、社会福祉学会の事務局も担当させていただいております。まだまだわからないことばかりですが、よろしくお願ひ致します。

平成27年8月8日に行われた社会福祉学部学内学会の後、18期生の同窓会を開催しました。卒業後、県外に就職した人も多い中、20人を超える同級生たちが集まり思い出話に華を咲かせました。卒業してまだ数ヶ月しか経っていませんでしたが、4年間共に学んだ仲間たちと久しぶりに会うことができ、時間もあっという間に過ぎていきました。

これから多くの楽しいこと、辛いことを経験すると思いますが、そのたびにまた、こうしてみんなで集まることで、それぞれの成長を共有できたらと思います。

まだ社会に出たばかりの僕たちですが、それぞれの道でこれからも頑張っていきたいと思います。またみんなで集まるぞー！



同窓会情報コーナー

このコーナーでは、今年行われた同窓会情報を伝えします。あなたの身近でも同窓会の開催報告や開催の予定があれば、ぜひ情報を寄せください。

- 平成26年度事業**
- 1 総会・セミナーの開催（平成26年8月2日）
 - 2 Newsletterの発行（平成27年3月18日）
 - 3 卒業生の国家資格取得支援事業
 - 4 学会員活動助成事業
 - 5 実習指導者講習会受講料助成事業
 - 6 社会福祉学部創設20周年記念誌編集委員会

平成26年度決算	
【収入の部】	【支出の部】
繰 越 金 2,193,623	事 務 費 2,419
会 費 570,000	役 務 費 112,154
印 稅 2,310	事 業 費 329,342
事 業 費 593,055	セミナー運営費 121,011
寄 付 72	幹 事 会 費 125,664
利 益 253	計 690,590
計 3,359,313	
繰越 2,668,723円	

- 平成27年度事業**
- 1 総会・セミナーの開催（平成27年8月8日）
 - 2 Newsletterの発行（平成28年3月16日）
 - 3 卒業生の国家資格取得支援事業
 - 4 学会員活動助成事業
 - 5 実習指導者講習会受講料助成事業

平成27年度予算	
【収入の部】	【支出の部】
繰 越 金 2,668,723	事 務 費 40,000
会 費 570,000	役 務 費 130,000
印 稅 2,000	事 業 費 787,360
事 業 費 43,500	セミナー運営費 65,000
寄 付 30,000	幹 事 会 費 140,000
利 益 500	計 1162,360
計 3,314,723	

山口県立大学社会福祉学部 社会福祉学会事務局からのお知らせ

卒業後、社会福祉士、精神保健福祉士に合格された方、お名前やご住所などが変わられた場合は、事務局までご一報ください。

〒753-8502 山口市桜島3丁目2-1
山口県立大学社会福祉学部 ソーシャルワーク実習開発室内 社会福祉学会事務局
TEL : 083-928-4783 FAX : 083-928-3547
E-mail : sw-gakkai@yamaguchi-pu.ac.jp
URL : <http://www.yamaguchi-pu.ac.jp/gakubu/fukushi/gakkai.html>

第18回総会および 社会福祉セミナーのご案内

日時：平成28年8月6日(土) (予定)
13:00~18:00

詳細は決まり次第、お知らせいたします。
卒業生の皆さんでの参加をお待ちしています。

